



那須南病院 看護部

看護部紹介	部署紹介	教育について	その他
<ul style="list-style-type: none">・ 看護部長あいさつ・ 看護部の体制・ 看護師紹介・ 新人看護師・中途採用看護師・ 育児休暇復帰看護師・派遣看護師・ 時短看護師・いきいき看護師・ ICTメンバー看護師	<ul style="list-style-type: none">・ 2階病棟・ 3階病棟・ 4階病棟・ 手術室・中央材料室・ 透析室・ 外来・ 医療福祉相談・医療連携室	<ul style="list-style-type: none">・ 教育体制・ 看護助手研修・ e-ラーニング研修活用	<ul style="list-style-type: none">・ 修学資金制度

地域の中で、患者さんに寄り添い笑顔の看護

「地域医療、多職種連携の中心的役割を果たし、

垣根を超えた、協力し合える病院を目指します」



看護部長あいさつ

南那須地区広域事務組合立那須南病院は、栃木県北東部の那須烏山市に位置し、近くを清流那珂川が流れる自然豊かな環境の中にあり、地域の中核医療機関としての役割を担っています。

看護部長：鈴木敦子

看護部では、「私たちは、患者の皆様寄り添い思いやりのある看護を提供します。患者・ご家族が安心して過ごせるようにサポートします。」と理念に掲げ、患者さんのことを自分の家族のように心に寄り添い、「思いやり」のある心をもってきめ細やかな支援ができるよう心掛けています。

地域の高齢者の割合は、全国平均を大きく上回っています。各機関と連携を取りながら、地域の皆様から「那須南病院があって良かった。」と言っていただけよう、地域に根付いた看護をスタッフ一同、力を合わせて取り組んでいます。

また、看護部では「お互い様」を合言葉に、一人ひとりのワーク・ライフ・バランスを大切にしながら、働きやすい職場づくりを目指し、人材を貴重な財産として、スタッフがやりがいを感じながらいきいきと働けるように、職場環境の改善にも努めています。





看護部の体制

看護部理念

私たちは、患者の皆様に寄り添い、思いやりのある看護を提供します。患者・ご家族が、安心して過ごせるようにサポートします。

看護部方針

1. 患者の皆様のご権利を尊重し、まごころと優しさのある看護をします。
2. 地域の皆様にご親しまれ、信頼される看護をします。
3. 良い看護を提供するために、自己研鑽に努め、責任と誇りを持って看護をします。

2020 年度看護部目標

1. 患者さんに寄り添い、信頼される看護を提供する。
2. 病院経営に参加する。
3. 専門職としてのキャリアアップを図る。
4. 働きやすい職場環境作り

看護体制

1. 一般急性期病棟・・・10：1 100 床
2. 療養病棟・・・・・・・20：1 50 床

看護提供方式

固定チームナーシング方式+受け持ち制

勤務形態

1. 病棟 2 交代制 全病棟 3 人夜勤
2. 外来 日直・当直制

看護部委員会活動

1. 教育委員会
2. 基準委員会
3. 記録委員会
4. 業務委員会

看護部ワーキング

1. デイケアワーキング



看護師紹介



新人看護師

「思いやりをもって看護を行う」

4階病棟は外科・整形外科・内科の混合病棟です。沢山の知識、技術が必要になりますが、日々の業務を通し学びを深めています。患者様はそれぞれ問題や苦痛を抱えながら入院していますが患者様と関わり個別性を考慮しながら苦痛軽減が図れるように努めています。忙しくも充実した毎日過ごし患者様と関わる中で思いやりを持ち心から寄り添える看護を提供していきます。

4階病棟：高木詳太



中途採用看護師

「笑顔を届けられる看護師」

私は内科・眼科・小児科の混合病棟に勤務しています。心不全や肺炎を始めとし様々な疾患を持つ方や終末期に移行する方などが入院しており、急性期・慢性期・終末期の看護実践が求められます。それぞれの場面において看護師としてどのように関わり看護実践をするべきか悩むこともありますが、先輩方の指導のもと看護を行えるので安心です。日々の看護実践の中で笑顔を届けられるような看護師を目指しています。

3階病棟：高德祥弘



育児休暇復帰看護師

「継続した看護提供を目指して」

子育てと両立しながら、楽しく外来勤務しています。スタッフ同士で情報を共有し、各科と連携を図り継続した看護提供を目指しています。

分かりやすい言葉で指導や処置を行い、患者さんがその人らしく生活を送れるよう関わっていきたいと思います。

不安や症状の辛さは個人によって異なります。患者さんが少しでも安心して診療にすすめるよう、声掛けを丁寧に行っていきたいです。

外来：清水 恵



派遣看護師

「大学病院から地域医療へ繋ぐために」

自治医科大学附属病院より平成30年4月に派遣看護師として入職しました。大学病院での治療を終えた患者様が、地元へ戻ってどのような医療や支援を受けているのかを知りたいと思い、派遣を希望しました。地域の病院にかかりながら、なじんだ場所で療養生活を送るにあたり、地域には様々なサポート体制があります。大学病院の医療とは役割が異なる地域医療はとても興味深いです。地域医療に繋げるために、大学病院のいち看護師として何をすべきか、貴重な機会を活かして学んでいきたいです。

3階病棟：渡邊愛理



時短看護師

「私にとってのワークライフバランス」

仕事と育児の両立は、簡単なことではありません。私は、二人の子どもを育てながら、育児短時間制度を利用して働いています。

職場の上司や同僚が、時間通りに退勤できるように、業務の調整やフォローをしてくれるおかげで、家庭では子ども達と向き合え、家族と過ごす時間が増え、充実した日々を送っています。

仕事と育児のバランスがとれ、このような環境で働き続けられていることに感謝し、よりよい看護を提供していきたいです。

2階病棟：斎藤智子



いきいき看護師

「趣味を楽しみ笑顔の看護を」

大切にしていることのひとつに趣味であるフラダンスがあります。フラダンスは、楽しく身体を動かし笑顔になれて有意義な時間です。趣味を楽しみ、心が満たされることで、仕事も家事・育児も充実します。レッスン・イベント等でご迷惑をおかけすることもあると思いますが、スタッフの方々が理解してくれているおかげで、フラダンスを楽しめていると感じています。これからもフラダンスを楽しみながら、笑顔の絶えない看護を提供していきたいです。

2階病棟：薄井 恵



「ICT（院内感染対策チーム）について」

ICT（感染対策チーム）は医師・看護師・薬剤師・検査技師によって構成され、病院全体の感染対策を行っています。感染対策は一部の人だけが行うのではなく、すべての職員が行動できることが必要です。そのため各部署の感染対策で中心的な役割を担うICS（感染対策スタッフ）と協力し、全職員が感染対策を実践できるよう関わっています。感染対策という目に見えない戦いの中で、病院が一丸となって感染対策を行っています。



部署紹介

2階病棟：看護師長 富岡淳子

「患者さんの笑顔のために！」

2階病棟は急性期の治療が終了し、在宅に戻るため家屋や福祉サービスの準備が必要な患者さんや長期の療養が必要な患者さんが生活をする療養病棟です。看護師と看護助手がほぼ同数で勤務していて、協力して日々の看護や退院指導をしています。また、患者さんが季節を感じ、生活のリズムを整えられるように病棟独自にガラスアートや遊びリレーション、嚥下体操を行っています。療養病棟にしかできない経験が沢山あります。



3階病棟：看護師長 檜山律子

「その人らしさ」を大切に

50床の内科、眼科、小児科の病棟です。主に急性期治療を必要とする患者さんと慢性疾患の高齢の患者さんが多く入院されています。入院時から受け持ち看護師が中心となり、急性期、慢性期の看護はもちろん患者さんの「その人らしさ」を大切にしたい退院支援に力を入れています。患者さんを中心とした、ご家族や他職種、地域の方々と連携する中でたくさんのごことを学ぶことができ、地域の中で働く楽しさを感じることもできる病棟です。これからも入院中だけでなく退院後も地域で安心して生活できるよう地域と繋がる看護に取り組んでまいります。



4階病棟：看護師長 西宮英子

～笑顔で 安全に 迅速に～

外科・整形外科・内科の混合病棟です。地域包括ケア病床も増設となり、様々な疾患や看護を学べる環境が整っており幅広い知識や技術を身に付ける事ができます。多職種と協力し合い、患者に寄り添った看護を心掛けています。



手術室・中央材料室：兼看護師長 岡崎京子

患者さんが安心して手術に望めるために

手術を受ける患者さんが安心して望めるように、手術前訪問に伺っております。顔の見える関係作りや緊張がスーと和らぐ雰囲気作りを心掛けています。手術の説明や不安がないかお話をきいています。私たちは、手術が円滑に遂行されるように、専門的知識と技術の習得にも努めていきます。



透析室：看護師長 関本京子

患者さんの心と身体に寄り添った透析治療

透析室は、看護師4名、臨床工学技士3名の計7名で透析業務を行っています。患者さんが安心して透析治療が受けられるように、患者さんの心と身体に寄り添った看護を心掛けています。知識と技術の向上に努め、安全で質の高い透析医療・看護を目指しています。



外来：看護師長 高野良子

ママさんパワーで頑張っています

当院は1市1町からなる2次救急指定病院です。毎日250名近い外来患者に対応し、救急患者もなるべく断らない精神で行っています。25名の看護師と5名の看護助手で外来業務にあたり、子育てをしながら家庭と仕事の両立に頑張っています。

そして、高齢者患者が多いなか、日々患者・家族の思いに寄り添い、地域と連携を図り患者ニーズに対応しています。



医療福祉相談・医療連携室：室長補佐 副看護部長 岡崎京子

みんなで支える体制作り

看護師4名とMSW1名で構成されています。今年度から患者相談窓口も加わり、患者・家族、そして病院スタッフの悩みを聴いて対応しております。入退院支援、地域連携を進めるにあたり、地域の方々との顔の見える関係作りを大切にしております。みんなで一つになり地域全体を支えていきたいと願っています。





教育について



教育体制

当院は2019年度4月から日本看護協会(JNA)ラダーを取り入れた教育を行っています。地域の方の暮らしと医療を支えるため切れ目のない看護が必要です。その実現のために基本となる看護実践能力の強化が必要です。看護師は多職種連携の中心的役割を担い、患者さんの個別性を配慮した看護ケアを目指します。

昨年度より、日本看護協会のクリニカルラダーを看護実践能力の標準的指標として、当院の理念や目標に応じた組織的役割遂行能力、自己教育・研究能力を含めたキャリアラダーとして3つの学習を段階的に進めています。また、インターネットを利用したオンデマンド研修も取り入れ子育て中の方や育児休暇中の方も、しっかりと受講できる体制です。

◎教育目標

1. 地域医療の提供に必要な看護実践能力の向上に向けて自発的に行動することができる人材育成
2. 質の高い医療の提供に向けて、多職種と連携することができる

◎那須南病院看護部キャリアラダー

習熟段階	看護実践能力の定義	到達目標
V ラダーIVを到達した看護師	より複雑状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する。	<ul style="list-style-type: none"> ・より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する ・所属を超え、看護部や病院から求められる役割を遂行できる ・看護単位の課題に対し、具体的解決を図れる ・単独で専門領域や高度な看護技術等についての自己教育活動を展開することができる ・看護単位における教育的役割がとれる
IV ラダーIIIを到達した看護師	幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する。	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する ・職場で、特殊なまたは専門的な能力を必要とされる役割、または指導的な役割を遂行できる ・自己のキャリア開発に関して目指す方向に主体的に取り組み、先輩のモデルになる
III ラダーIIを到達した看護師	ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアの受け手に合う個別性な看護を実践する ・職場での組織的役割が遂行でき、チームリーダーや調整の役割が果たせる ・自己の学習活動に積極的に取り組むとともに、新人や新採用者に対する指導的な役割を実践することができる
II ラダーI以外の看護師	基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する。	<ul style="list-style-type: none"> ・標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する ・メンバーシップを高めると共に、チームリーダーの役割がとれる ・自己の課題を明確化し、達成に向けた学習活動を展開することができる
I 新採用の新人看護師及び同等の看護師	基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する。	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する ・チームメンバーとしての役割が果たせ、良い人間関係を築ける ・自己の課題を指導によって発見し、自主的な学習に取り組むことができる

◎新人看護職員研修

キャリアラダーⅠに沿って学習を進めて行くとともに、できるだけ早く職場になじみ、自立した看護実践が行える為の知識・技術を身につけられるよう3ヶ月ごとに目標を決め、定期的に研修を行っています

- Ⅰ期目標
- ①休まず出勤できる
 - ②患者、家族、職員へ進んで挨拶ができる
 - ③日勤業務ができる
 - ④指導の基見守られながらケアや処置ができる

- Ⅱ期目標
- ①メンバーの一員としての役割を認識し業務ができる
 - ②基本的な看護技術が一人で行える

- Ⅲ期目標
- ①個別性のある看護が展開できる
 - ②不明な点や知識・技術を明らかにして補足と習得ができる
 - ③指導のもと重症患者を看ることが出来る
 - ④指導のもと急変に対応できる

- Ⅳ期目標
- ①基本的な看護援助に必要な知識と技術を習得し、安全・安楽に援助できる
 - ②メンバーとして役割が果たせ、良い人間関係を築ける
 - ③自己学習及び自己研鑽の方向性と方法が分かり、実践できる
 - ④現場での看護実践および学習・研修を通して看護観を育てる

病棟では新人看護職員をチーム全体で支援していくチーム支援型教育体制を取り、環境づくりを心がけています。

1. 親しみやすい職場の雰囲気をつくる
2. 困ったときに一緒に考える
3. できたこと、考えたことを認め勇気づける
4. 社会人として、看護師のモデルとなる

◎新人看護職員研修の様子（2019年度）

インシュリン注射について



輸液ポンプの使い方



看護助手教育

看護助手研修

今年度から看護助手研修を主任会から教育委員会で引き継ぐことになりました。看護助手全員が参加し、安全に業務ができて知識や技術を習得できることを目標に研修を計画しています。また、看護助手の経験がない人は基礎から教育を受けられ、看護助手の経験がある人は持っている知識と技術をさらに増やせるように今後は、看護師教育と同様に看護助手も当院独自のラダーを作成して教育を行う予定です。ぜひ、一緒に楽しく働きましょう！



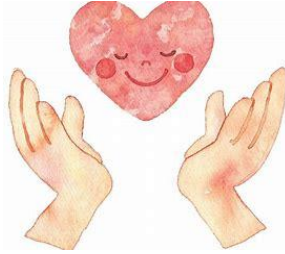
e-ラーニング研修活用

当院はインターネットを活用してオンライン講義「e-ラーニング」を採用しています。教育委員が中心となり、ラダー教育に学研オンデマンドを活用しています。JNAラダー研修は全体用研修に活用しています。時間外研修を減らして、オンデマンドを活用して自分のライフスタイルに応じた自宅学習を推奨しています。看護部職員はいつでもどこでも学ぶことができます。

◎JNA ラダー研修の様子（2020年度）



あなたの夢と一緒に応援します！



当院は看護師志望の学生を対象に、修学資金制度を設けています。

制度の目的

南那須地区広域行政事務組合立那須南病院の看護師及び准看護師の充実を図るため、将来那須南病院に勤務しようとする者に対し、修学に必要な資金を貸与するものです。

免許取得後、貸与を受けた期間と同一の期間を那須南病院で看護業務に従事した場合は、修学資金の返還が免除されます。

1 対象者

看護師及び准看護師を養成する学校又は養成所に在学する方で、将来、那須南病院 に勤務する意志を有する方

2 貸与の額 (1) 看護師養成施設に在学の方…月額70,000円

(2) 准看護師養成施設に在学の方… 月額35,000円

3 貸与の期間

貸与の決定を受けた年度の4月から3月まで

① 貸与の申請及び決定は毎年度行ないます。

② 次年度以降も申請書の提出が必要です。(養成施設を卒業するまでの期間は貸与します)

4 貸与の時期

6月・9月・12月及び3月に当該月分まで(3か月分)を指定の口座に振り込みます。

(これ以外の時期または回数の変更も可能です。)

5 申請期間及び方法

随時

修学資金を希望される方は、下記まで連絡願います。申請書類等をお渡しします。

常時受け付けておりますので、ご相談ください。

〒321-0621

栃木県那須烏山市中央 3-2-13

那須南病院 総務課 0287-84-3911